



平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fuikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	582	12.2	86	46.1	55	70.3	29	45.4
25年6月期第1四半期	518	15.0	59	—	32	—	20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	9.42	—
25年6月期第1四半期	6.93	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年6月期第1四半期	2,777	—	1,161	—	41.7	364.37
25年6月期	2,981	—	1,153	—	38.6	361.95

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 1,159百万円 25年6月期 1,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,147	5.5	140	11.1	120	39.5	60	20.0	18.86
通期	2,313	3.9	300	7.9	260	16.6	140	22.8	44.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期1Q	3,181,600 株	25年6月期	3,181,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期1Q	78 株	25年6月期	78 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期1Q	3,181,522 株	25年6月期1Q	2,974,855 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における取り組みは、収益改善を目的とした各設備の稼働率の向上と売上拡大に向けた営業強化に注力してまいりました。建設系リサイクル事業は平成25年8月にバイオマス発電施設のボイラー法定点検を行ったことにより、8月に一部受入制限を実施した結果、発電施設の売上高が前年同期比で2.6%減少しております。しかしながら、その他の施設は収集運搬業務を含め全施設で売上高が前年同期を上回っております。各施設ともに高い稼働率での運転を継続するとともに受入平均単価も堅調に推移しております。食品系リサイクル事業は液状化飼料の外部販売は堅調に推移しておりますが、堆肥化を含めた受入数量は、価格設定の影響等により前年同期比で月間100トン前後減少しております。その他事業であります、解体工事及び白蟻工事は施工体制の再構築により、売上高は大幅に増加しております。

これらの結果、売上高は582百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

売上原価は、大規模な改修工事が無かったため維持管理費が前年同期比及び計画比で減少しております。一方、解体工事の増加により外注費用が、受入数量の増加にともない埋立処分費用が前年同期比及び計画比で増加した結果、前年同期比8.3%増の441百万円となり、計画比では1.8%下回っております。売上高の増加により、売上総利益は140百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、概ね計画通りであります。前年同期に貸倒引当金戻入益が3百万円発生してまいりましたので、前年同期比4.2%増の54百万円となり、計画比では支払手数料が増加したため1.6%上回っております。営業利益は86百万円（前年同期比46.1%増）となりましたが、平成25年9月に既存借入金の正常化に向け、私募債を発行したため営業外費用として、社債発行費用及び既存借入金返済にともなう手数料等を20百万円計上したため、経常利益は55百万円（前年同期比70.3%増）、四半期純利益は29百万円（前年同期比45.4%増）となり、営業強化により各利益ともに前年同期を上回っております。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	465	420	45	424	41
売上原価	333	323	9	353	△20
売上総利益	132	96	35	70	61

建設系リサイクル事業は、バイオマス発電事業を含め、現状当社の売上総利益の大部分を占めている主要事業であるため、収益の維持向上に努めてまいりました。受入数量及び受入平均単価も堅調に推移しております。焼却施設の売上高は単価の向上もあり、前年同期比12.4%増加しております。発電施設は売電単価が向上しておりますが、ボイラーの法定点検による稼働停止等により、売上高は前年同期比2.6%減少しております。その他施設の売上高も受入数量の安定化等により、がれき類の破碎施設は14.9%、廃プラスチック類の破碎・圧縮梱包施設は33.5%、前年同期比で増加しております。

売上原価は維持管理費及び機械リース費が減少しておりますが、人件費、電気代、埋立処分費用、委託費用等が前年同期比及び計画比で増加しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は465百万円（前年同期比10.8%増）、売上原価は3.0%増の333百万円となり、売上総利益は132百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	64	66	△1	68	△3
売上原価	57	52	5	53	4
売上総利益	7	14	△7	15	△8

食品系リサイクル事業は、飼料化事業の拡大に努めてまいりましたが、飼料化原料の受入価格が市場と折り合わず新規取引先の受注拡大が計画通り進行していません。現状、飼料化原料の受注営業を強化しており、新規案件の拡大に努めております。堆肥化施設の受入数量は前年同期比60.8%減少し、受入平均単価は同額であるため、売上高は前年同期比で60.7%減少しております。飼料化施設は新規取引先の拡大に努めた結果、受入数量は前年同期比25.6%増、受入平均単価も8.9%向上した結果、売上高は前年同期比36.8%増加しております。銚田ファームは業務の改善、効率化が進むとともに販売単価も向上しており、再生飼料及び養豚の売上高は、前年同期比53.6%増加しております。

売上原価は委託手数料、銚田ファームの肥育費用が増加しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は64百万円（前年同期比2.6%減）、売上原価が10.9%増の57百万円と増加したため、売上総利益は7百万円（前年同期比51.3%減）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	51	31	19	44	7
売上原価	50	31	18	42	7
売上総利益	1	0	1	2	△0

白蟻解体工事は、解体工事体制の再構築により受注件数が増加しておりますが、外注費用も比例して増加したため、売上総利益は1百万円となりました。白蟻工事は新築工事の増加により、前年同期比及び計画比で、売上高及び売上総利益ともに上回っております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は51百万円（前年同期比61.7%増）、売上原価は50百万円（前年同期比58.1%）、売上総利益は1百万円（前年同期は0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産の状況は、前事業年度末に比べ204百万円減少し、2,777百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、税金の支払い及び借入金の返済等により現金及び預金が158百万円、債権の回収により売掛金が40百万円減少したこと等により、前事業年度末に比べ200百万円減少し、473百万円となりました。

固定資産については、有形固定資産が減価償却費の計上により58百万円減少しておりますが、建設重機、収集運搬車両等の新規取得により、前事業年度末に比べて3百万円減少し、2,303百万円となりました。

流動負債については、借入金の借り換えを実施したため、1年内償還予定の社債が98百万円増加しておりますが、1年内返済予定の長期借入金が86百万円減少しております。未払法人税等が59百万円減少しておりますが、未払金が27百万円増加したこと等により、前事業年度末に比べ123百万円減少し、546百万円となりました。

固定負債については、借入金の返済と社債の発行による借り換え等により、前事業年度末に比べ88百万円減少し、1,069百万円となりました。

純資産については、四半期純利益29百万円、期末配当金22百万円の計上等により、前事業年度末に比べ7百万円増加し、1,161百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の売上高が計画を上回っており、堅調に推移しております。バイオマス発電施設の法定点検を実施した8月の売上高は171百万円となりましたが、3ヶ月平均では194百万円と当期の通期売上高見通しの月次平均額であります193百万円を達成しております。食品リサイクル事業の営業強化により、売上高の向上を目指してまいります。

売上原価は費目ごとの増減は発生しておりますが、概ね計画通り推移しておりますので、原価率の改善により、売上総利益、営業利益が堅調に推移しております。施設の保守点検に伴う稼働状況等、売上高の増減及び維持管理費の発生等による業績の変動要因もありますが、現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	582	518	63	537	44
売上原価	441	407	33	449	△8
売上総利益	140	111	29	87	52
販売管理費	54	51	2	53	0
営業利益	86	59	27	34	51

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	287,011	128,266
受取手形及び売掛金	300,122	259,592
仕掛品	15,852	18,743
原材料及び貯蔵品	14,415	18,735
前払費用	17,284	30,557
繰延税金資産	39,320	14,504
その他	3,076	5,375
貸倒引当金	△2,189	△1,833
流動資産合計	674,894	473,941
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,552,116	1,554,869
減価償却累計額	△576,316	△589,888
建物(純額)	975,800	964,980
構築物	280,984	280,984
減価償却累計額	△172,764	△175,744
構築物(純額)	108,220	105,240
機械及び装置	2,579,046	2,616,651
減価償却累計額	△1,728,331	△1,765,606
機械及び装置(純額)	850,715	851,044
車両運搬具	63,497	67,699
減価償却累計額	△45,557	△46,546
車両運搬具(純額)	17,939	21,152
工具、器具及び備品	36,613	37,950
減価償却累計額	△32,127	△32,684
工具、器具及び備品(純額)	4,485	5,266
生物	6,824	7,382
減価償却累計額	△3,422	△3,938
生物(純額)	3,402	3,444
土地	291,995	291,995
建設仮勘定	3,094	5,164
有形固定資産合計	2,255,652	2,248,288
無形固定資産		
その他	12,347	11,646
無形固定資産合計	12,347	11,646
投資その他の資産		
関係会社株式	135	135
繰延税金資産	14,372	14,415
その他	26,192	30,571
貸倒引当金	△1,645	△1,645
投資その他の資産合計	39,054	43,477
固定資産合計	2,307,054	2,303,412
資産合計	2,981,949	2,777,353

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	195,689	169,329
1年内償還予定の社債	—	98,000
1年内返済予定の長期借入金	200,004	113,612
未払金	62,915	90,790
未払法人税等	62,290	2,967
賞与引当金	—	21,718
役員退職慰労引当金	10,000	—
その他	139,244	50,044
流動負債合計	670,144	546,462
固定負債		
社債	—	602,000
長期借入金	1,023,030	312,100
長期末払金	92,543	112,863
その他	42,750	42,750
固定負債合計	1,158,324	1,069,713
負債合計	1,828,468	1,616,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,592	294,592
資本剰余金	415,072	415,072
利益剰余金	441,914	449,612
自己株式	△35	△35
株主資本合計	1,151,544	1,159,241
新株予約権	1,936	1,936
純資産合計	1,153,480	1,161,178
負債純資産合計	2,981,949	2,777,353

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	518,860	582,288
売上原価	407,854	441,836
売上総利益	111,006	140,451
販売費及び一般管理費	51,842	54,004
営業利益	59,163	86,447
営業外収益		
受取利息	6	21
受取家賃	904	1,950
損害賠償金	—	1,011
その他	1,181	630
営業外収益合計	2,092	3,613
営業外費用		
支払利息	13,129	10,318
社債利息	149	—
社債発行費	—	17,901
支払手数料	13,454	4,633
その他	1,936	1,728
営業外費用合計	28,669	34,581
経常利益	32,585	55,479
特別利益		
固定資産売却益	—	1,148
特別利益合計	—	1,148
特別損失		
固定資産売却損	39	—
固定資産除却損	440	—
特別損失合計	480	—
税引前四半期純利益	32,105	56,627
法人税、住民税及び事業税	4,425	1,885
法人税等調整額	7,073	24,773
法人税等合計	11,498	26,659
四半期純利益	20,606	29,968

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。